

【事業分野:道の駅、PRE活用】【対象施設:道の駅、公共施設】【事業手法:PFI方式、DBO方式】

調査のポイント

- ・周辺公共施設(歴史民俗資料館等)の機能集約や、最新動向の反映(道の駅第3ステージ他)、重点道の駅提案内容の実現を含めた、道の駅リニューアル(地域振興施設の改修)における官民連携の事業スキームを検討。
- ・DBO方式によるリニューアル整備と周辺施設等を含めた管理運営体制構築の実現性を確認。

事業／施設概要



道の駅周辺図(現状)

道の駅区域図(現状)

菊水ロマン館

	規模	所有者	管理運営者	リニューアル後
道の駅きくすい	約9,000㎡	和水町・熊本県	指定管理者①	菊水ロマン館改修・遊休地活用整備を行い、一体的な管理運営を目指す。(歴史民俗資料館は廃止、機能移転)
(菊水ロマン館)	約2,070㎡(施設)	和水町		
和水江田川カヌー・キャンプ場	13,000㎡	和水町	指定管理者②	
肥後民家村	古民家13棟	和水町	和水町	
(歴史民俗資料館)	約240㎡(延床)			
遊休地	—	和水町(一部民間)	和水町	
活用検討区域(縄文の森)	—	和水町	和水町	周辺施設等として連携
江田船山古墳公園	—	熊本県	和水町	

目的・これまでの経緯

「道の駅きくすい」では重点道の駅選定時の提案内容の実現に取り組んできたが、地域振興施設である菊水ロマン館はオープンから20年以上が経過し設備等の老朽化が進んでいる。

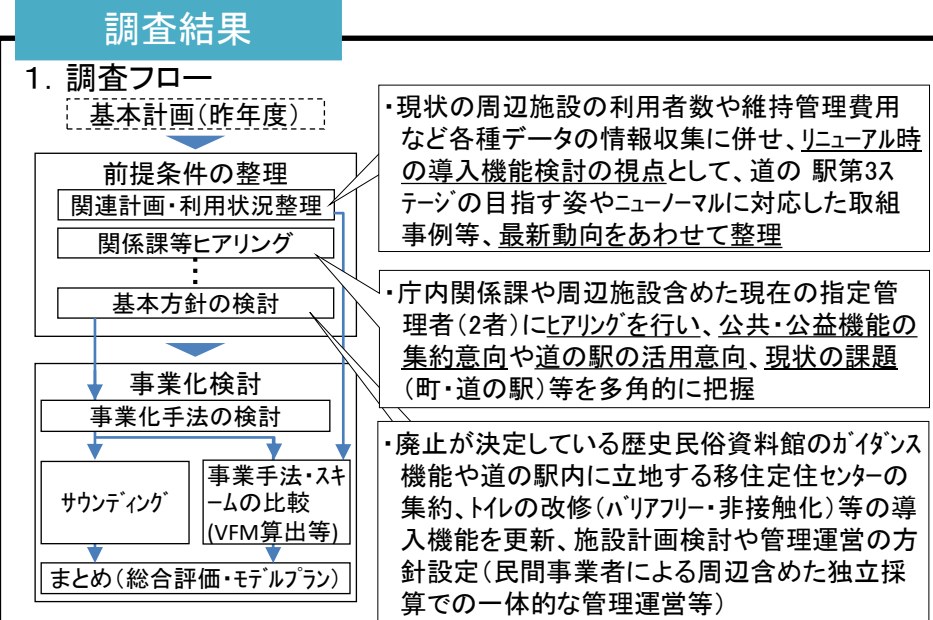
和水町では、町や道の駅が抱える課題への対応や道の駅第3ステージの目指すべき姿の達成、提案内容の実現には継続的な地域活性化に寄与する「小さな拠点」としてのリニューアルが適切であると考え、本調査では「道の駅きくすい」のリニューアルにおける官民連携手法を導入する際の事業スキームを検討すると共に、導入の効果及び課題を整理し、官民連携事業の実現可能性について調査を行うことを目的とした。

有識者や関係機関等が参加する「和水町道の駅等活性化協議会」を令和元年に設置し、活性化に向けた協議・合意形成を継続的に行っており、本調査は、令和4年に協議会での協議を経て策定した「和水町道の駅きくすい(菊水ロマン館)基本計画」の内容を踏まえ、実施した。

年次	取組内容
平成12年	道の駅きくすいオープン
平成31年	重点道の駅選定
令和元年	和水町道の駅等活性化協議会設置
令和4年	和水町道の駅きくすい(菊水ロマン館)基本計画策定
令和5年	道の駅きくすいリニューアル&小さな拠点整備における事業手法検討調査(本調査)

【R5:先ー16】 道の駅きくすいリニューアル&小さな拠点整備における事業手法検討調査

(実施主体:熊本県和水町)

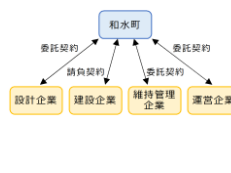
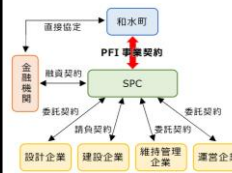
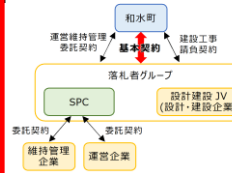


2. サウンディング調査

・道の駅等公共・公益施設の指定管理者の実績を有する民間事業者5者が参加。

ハード整備 (菊水ロマン館改修・遊休地整備)	・PFI-RO方式導入意向は低く、行政が資金調達を行う従来方式(EOI方式含む)やDBO方式の導入意向が高い。 ・物販飲食機能内装は事業者が整備する想定は可能。 ・菊水ロマン館内機能・規模は、公募時の提案自由度確保が必要。
管理運営	・道の駅と遊休地(整備後)を指定管理(独立採算)の範囲に含める想定は可能。(遊休地が利用できると参画のインセンティブとなる) ・非収益機能等の事業者側リスクを低減しつつ独立採算、特殊な管理を要する肥後民家村は指定管理料の支払い(現状の維持管理費程度)を想定することで、一体的な管理運営の可能性はある。

3. 総合評価結果

事業スキーム	従来方式	PFI-RO方式	DBO方式
スキームイメージ			
サバディグ	○(希望2者) ※重複含む	×(希望1者)	○(2者) ※重複含む
VFM	—	×(-5.0%)	◎(5.6%)
その他	その他、「民間ノウハウの発揮」「民間参画のしやすさ」「地元企業の参画可能性」「金融機関の監視等」「市の調整事務負担」「財政負担の平準化」の項目から比較		
総合評価			●

4. 調査結果まとめ

・「道の駅きくすい」リニューアルにおけるハード整備に関する事業手法はDBO方式(又は従来方式)、管理運営は「道の駅きくすい」及び周辺施設を含めた一体的な指定管理者制度による管理運営とする方針とした。(ただし、特殊な管理運営ノウハウ(古民家の維持管理)が必要として管理運営範囲に含めない意向が高かった「肥後民家村」は、指定管理料の設定を今後検討)。

	道の駅 菊水ロマン館	カー・ キャンプ場	遊休地	肥後 民家村	活用検討区域 (縄文の森)
ハード 整備	DBO方式 (又は従来方式)	(現状維持)	町整備 (造成・ インフラ)	(歴史民俗資料館 は廃止)	(現状維持)
管理 運営	指定管理者 ※独立採算 (指定管理料無)			指定管理料 支払い検討	町直営 (連携検討)

